



長浜が動きます。

皆さま、こんにちは。

6月定例会(令和7年第4回定例会)は、6月6日(金)に開会、同23日(月)に閉会となりました。

今回の定例会は、一般質問や各常任委員会などの他に、市長の施政方針表明があり、それに対する各会派の代表による質疑が行われました(市長選後はじめての定例会のため)。私は、会派「佐野市の明日をつくる会」を代表し、質疑を行いました。

会派の考え方として、「良いものは良い、改善すべきは指摘をする」是々非々の姿勢を基本としています。また、議決などの賛否に関しては、それぞれの意思と決断を最大限尊重することも確認しています。必ずしも同じ会派だから同じ方向にしていかなければならないということではなく、「佐野市の明日をつくる」ための最良の決断をしていこうという考え方を会派内で共有しています。

本年は大東亜戦争の終戦から80年です。私は、今ある平和に感謝するとともに、改めて日本の在り方を考える機会にしたいと考えています。

私の活動に対し、引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

(※9月定例会は、9月5日(金)～10月1日(水)で行われる予定です)

～施政方針に対する質疑～

「施政方針」とは、市長が今後4年間の市政運営に関する所信の一端を表明するものです。それに対し、私は14項目の質疑を行いました。

以下、質疑の一部をご紹介します。

Q:「健全財政を維持している根拠を伺います」

A:「財政健全化法における4つの健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費率及び将来負担比率)において、本市はいずれも早期健全化基準未満であることから、現時点では健全財政を維持していると認識している」

Q:「持続可能な財政運営の仕組みを構築していくことに関して、公共施設の見直し以外で事業の見直しについて伺います」

A:「具体的には、市民ニーズを的確に捉え、事業の成果を測りながら、市民サービスの低下につながらないよう配慮する一方で、時代にそぐわない事業や役割を終えた事業を見極め、説明責任を果たした上で、事業のスクラップ・アンド・ビルドを積極的に推進し、真に必要な事業に予算を配分してまいりたいと考えております。」

※他の質疑⇒「若者や女性視点による社会環境の整備」の具体的な取組など

